

やまぐちっ子学力向上だより

第 104 号 R01.8.15
山口県教育庁義務教育課

全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。

今回の調査において、小学校、中学校ともに全体として全国平均を上回る結果となりました。これは、子どもたちの努力はもちろん、各学校において、全国学力・学習状況調査と県独自調査を活用した年間2回の検証改善サイクルの取組が定着したこと、またコミュニティ・スクールの仕組みを生かした家庭・地域との連携による授業改善や補充学習などの取組が組織的に行われてきたこと、さらに市町教育委員会の支援が積極的に行われてきたことなどの成果が表れたものと考えています。

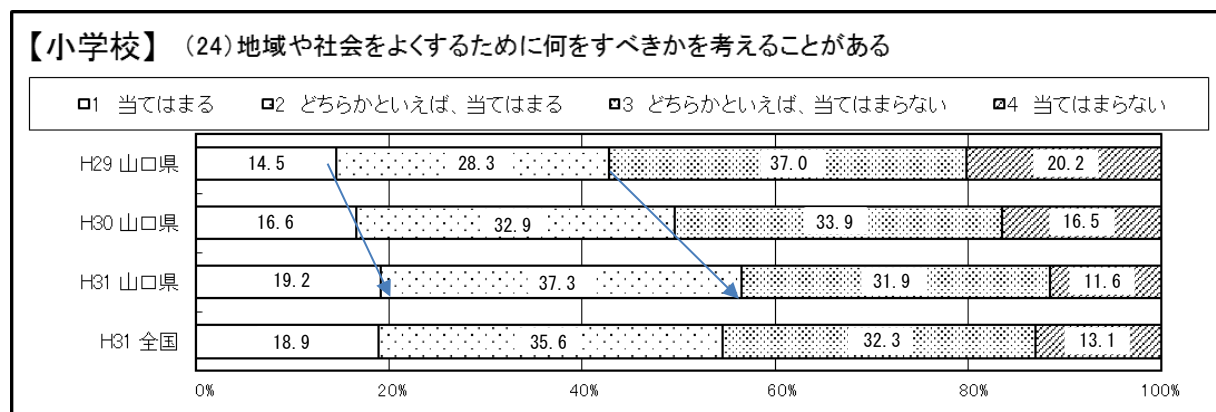
まず、山口県と全国の平均正答数と平均正答率をお示しします。平均正答率については、平成29年度から、都道府県等の状況は整数値で、全国の状況は小数第一位までの数値で提供されています。

小学校	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国 語	9.5/14	8.9/14	68	63.8
算 数	9.4/14	9.3/14	67	66.6

中学校	平均正答数 (問)		平均正答率 (%)	
	山口県	全 国	山口県	全 国
国 語	7.4/10	7.3/10	74	72.8
数 学	9.8/16	9.6/16	61	59.8
英 語	11.6/21	11.8/21	55	56.0

教科の特徴的な問題については、次号以降に提示します。

次は質問紙調査についてです。下の帯グラフからは、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」に対する回答です。山口県の子どもたちは全国と比べて肯定的な回答をしており、その割合は年々増加していることが分かります。



このような、望ましい状況もたくさんありますが、課題の見られる状況もあります。次の表に県内の状況を一部紹介します。各校におかれましては、各校のデータを分析し、子どもたちの実態把握の一つとして活用していただければと思います。なお、山口県全体の詳細なデータについて知りたい場合は、国立教育政策研究所のWebページにアップされていますのでご確認ください。（右のQRコード参照）



	望ましい状況	課題の見られる状況
児童生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。 ○授業でもっとICTを活用したい。 ○地域の行事に参加している。 ○地域や社会をよくするために何をすべきか考える。 ○授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> [全国より高いものの減少傾向] ●将来の夢や目標を持っている。 [昨年度より減少] ●読書が好き。 [全国より低い] ●平日1日当たりの勉強時間 ●将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたい。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○横断的な視点で、教育の内容を組織的に配列して指導計画を作成 ○学級での話し合いを生かして、一人ひとりの児童生徒が意思決定できるような指導 ○コミュニティ・スクールなどの仕組みを生かした保護者や地域の人との協働による活動 ○近隣等の学校と授業研究を行う 	<ul style="list-style-type: none"> [全国より高いものの減少傾向] ●教育課程の趣旨についての、家庭や地域との共有を図る取組 [昨年度より減少] ●習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫

4月に調査を受けた子どもたちに早く結果を提供し、学力の定着・向上に結びつけるために、7月に結果が公表されています。その趣旨を踏まえて、できるだけ早く子どもたちに個人票を配付し、学び直しの充実や指導の工夫・改善をすすめてほしいと思います。

若手教員スキルアップ研修会が行われました

7月29日（月）、30日（火）に若手教員スキルアップ研修が行われ、小中学校教員や学力向上推進教員86人が参加しました。

研修は、授業づくりに関する講義とグループ演習のセットで行いました。演習では、全国学力・学習状況調査問題を使った指導案づくり（1日目）や、持参した指導案の見直し、そして協議した指導案を使った模擬授業等（2日目）を行いました。参加者の情熱と一体感あふれる2日間になりました。

